

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	健康づくり課	
	担 当	健康増進G 本村	
会議名 (審議会等名)	令和7年度第1回嬉野市健康づくり推進協議会		
開催日時	令和7年7月15日 14:00～15:30		
開催場所	塩田庁舎3階 3-2会議室		
傍聴の可否	☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委 員	樋口正晃委員（会長） 北雄一朗委員（副会長） 大林 航委員（代理） 宮原昭委員 田邊章弘委員 村尾重之委員 川原みさ子委員 北川康則委員 田中恭子委員 古賀一也委員 松尾尚子委員 諸岡博子委員 岡 典子委員 小佐々徹正委員	
	事務局	健康づくり課	
	その他		
会議の議題	別紙資料のとおり		
配布資料	「協議会資料」 資料1・2		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	内 容 (1) 委嘱状交付 (2) 協議事項 ①令和6年度保健事業実績について(資料1) ②令和7年度保健事業計画について(資料2)		
内 容	事前に資料を送付し、協議事項について担当課から説明の後、意見を聴取		
審 議 経 過		令和6年度保健事業実績について事務局から説明	
	委員	4ページの妊婦歯科健康診査について、令和6年度から、検査対象医療機関を嬉野市内から鹿島・藤津地区歯科医師会まで拡大してありますが、受診者数の推移はどうでしょうか。受診率は上がっているのか？	
	事務局	令和6年度は受診率43.6%でした。令和5年度は受診率55.9%ですのでよくなってはいないです。	
	委員	数字としてはそうですが、環境としては整った。妊婦さんに話すことは、嬉野市が乳幼児の虫歯の罹患率が高い状況にあるので重要、歯科医師会としても取り組んでいきたい。	
	事務局	歯科医師に虫歯予防について話していただくのは貴重な機会なので、妊娠8か月時には受診勧奨をしている。多忙な妊婦さんも多いので受診の難しさはあるが今後も勧奨を続けたい。	
	委員	带状疱疹ワクチンについて、嬉野市の状況を教えてほしい。	
	事務局	次の7年度の事業計画の中でお話いたします。	
		令和7年度保健事業計画について事務局から説明	
	委員	1ページの風疹ワクチンについて、令和7年3月31までに限り定期接種の対象と書いてあるが、令和6年度で終わったということなのか。	

事務局	事業としては終わったのですが、ワクチンの供給が不十分だったため、国の方針で、令和7年3月31日までに検査が終わった方のみ、令和7年4月1日から2年間ワクチンを接種できることとなったものです。
委員	抗体検査は終わったんですね。
事務局	抗体検査は終わりました。
委員	2ページの肺炎球菌感染症について、令和6年度からは、65歳の方だけが対象になっている。以前は年度内に接種が可能だった。接種できる範囲が変わってきているが、分かりにくい。8月に66歳になる方に対象ではないと思ったが、対象だった為訂正した。誤解を招くのではないかと感じた。
委員	14ページの特定健診について、嬉野市は受診できる期間を6月から8月の3か月間に設定してある。他の市町では1年じゅう長く受診できるところもある。3か月間に集中すると、特定健診は検査項目が多く時間がかかるので、診療の方を待たせることもある。なぜ期間を3か月間に絞ってあるのか。
事務局	健診の実施期間については課内で検討をしましたが、実施期間を長くしても受診率は伸びないので、あえて3か月で締め切って、早く受けないといけないようにしています。いったん締め切って、改めて追加健診を実施しています。心理作戦です。それでも8月の末は集中します。
委員	健診期間は長い方が良いのかなとは感じるが、受診者が然程多くないため3か月間集中でもよい。 肺炎球菌感染症について、対象が変わったことについて、アナウンスはどのようにされていますか？
事務局	65歳のみが対象になる前に、65歳から5歳刻みで5年間ご案内をしていました。令和6年度については65歳の方のみに通知をしています。 带状疱疹については、令和6年度から5年間65歳から5歳刻みで該当年度を対象に実施しています。年齢により5年間待つ方もいます。
委員	一度かかったものでも予防接種を受ければ次は症状が軽くて済むのか。
委員	ひとによっては、2回・3回とかかる場合もある。体の中にもっているウイルスが、発症してしまい重症化する方もいる。
委員	生ワクチンと組み替えワクチンでは値段も違うがどう選んだらよいか。

	委員	組み替えワクチンを接種する方が多く、効果も高いと言われています。1回受けて、2か月空けて2回目を打つという接種の仕方です。
	委員	区長会で、特定健診の受診率を上げたいと話に来られるが、病院を受診している人が健診をうけているのか。早期発見早期治療のためだと思いますが、どうすれば受診率が上がるのか。働き盛りの40代・50代の方は仕事でなかなか受けるのが難しいのではないかと。ポイント制など取り組んでいるが、受診率は上がっているのか。
	事務局	かかりつけ医を持ち、通院している方、70代の受診率が高いのは事実です。その方の経過も見たいですが、今まで健診を受けたことがない方、40代の若い方々の結果も気になりますので、かかりつけ医を持って、年に1度は健診を受けてほしいです。若い方は肥満も多く、検査をするとコレステロール値が高い方や血糖値が高い方もおられます。ぜひ地区の方でも地域の方に受診するように声をかけてほしいと思います。
	委員	3ページの嬉野市新型インフルエンザ等行動計画について、改定の内容と、改定は義務なのかを教えてください。
	事務局	これは義務です。国が改定したのを受けて、昨年県が改定しているので、市町も改定するように通達がきている。新型コロナ対応の経験を活かして県独自の対応も加えて県は改定しているので、嬉野市でも新型インフルエンザだけでなく、未知のウイルスについての対応も含めて改定を行う予定です。事業・医療・検査項目など13項目について改定をする必要があります。行動計画を、準備期・初動・対応期と3つに分けて計画するように指示が 있습니다。今年度かけて改正を行い、来年2月のこの会議で審議していただく予定にしています。
	委員	健診事業全般について、外国人の受診が増えている。指導やアドバイスが、うまく伝わっているのか不明。健康増進につながっているのか疑問を抱いている。行政としての考えを聞きたい。
	事務局	東南アジア系の外国の方が増えているのは実態としてあります。母子手帳は外国語母子手帳があるので発行している。スマホの翻訳アプリも活用はしているが、詳しい情報はうまく伝わらないことが多い。県の多言語共生センターに依頼すると通訳を派遣してくれる。旅行者で保険証がなく受診する方もあり、対応に困るという意見も聞かれています。
		閉会 (以上)
その他		